

第49回  
高野山  
夏期講座  
2018

# 部落解放・人権 夏期講座

同時開催  
フィールドワークコース  
(事前講座含む)

日時 2018年8月22日(水)~24日(金) 参加費 7,500円 (参加・資料代、報告書代、税込み)

会場 高野山大学 松下講堂黎明館・体育館・201教室ほか

主催 部落解放・人権夏期講座実行委員会

8/22 開会行事 14:00~ 全体講演 14:15~17:30 8/22の全体講演1・2のみ手話通訳が入ります。

① 14:15~15:45 (90分)

## インターネット上の差別問題の現状と 解消に向けた取り組み

ソーシャルメディアやスマートフォンの普及によって、ネット上にヘイトスピーチや差別が横行し、世界各国で大きな社会問題になっている。ネット上の差別の現状を分析し、解消に向けた取り組みを紹介する。

津田 大介 ジャーナリスト/メディア・アクティビスト

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人)

② 16:00~17:30 (90分)

## 世界人権宣言70年と日本国憲法

世界人権宣言が採択されて今年で70年、日本国憲法は公布から72年となります。それぞれの人権規定の中身を、この機会にじっくり覗いてみましょう。

谷口 真由美 大阪国際大学准教授

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人)

全体講演1

① 14:15~15:45 (90分)

## 部落差別の現実とは、今

就職や恋愛などにおいて、インターネットを悪用した差別の被害に遭った。被差別部落の所在地やその出身者の個人情報に掲載した差別ブログや「全国部落調査」「同和地区Wiki」のようなサイトが存在するために、不特定多数の企業や個人がそれらを差別に利用する。ネット上の情報をもとにした差別を身を持って経験した立場から、部落差別の現実を報告する。

片岡 遼平 NPO人権センターHORIZON

会場：高野山大学体育館(500人)

② 16:00~17:30 (90分)

## 高野山と被差別民~「金剛峯寺日並記」の世界~

近年、新出史料の紹介によって高野山の被差別民に関する研究が深まりつつあります。それらの成果にもとづき、聖地・霊地としての高野山を支えた被差別民のすがたを紹介します。

矢野 治世美 熊本学園大学教員

会場：高野山大学体育館(500人)

全体講演2

※3日間の各日、ご自身の関心やニーズ等に応じて、受講する講座(講演)を選択ください。各会場の座席数には限りがありますので、満席の場合はご容赦ください。(8/23のフィールドワークは事前申込み制です)

※バリアフリー情報は3ページ目をご覧ください。車いすで参加される方や手話通訳等を必要とされる方など、受講にあたって支援が必要な方は、準備の都合上、7/27(金)までに事務局までお知らせください。(7/27を過ぎても可能な限り対応いたします)

※講座開催中、参加者には、高野山真言宗総本山金剛峯寺ほか一部諸堂を無料で拝観いただけます。(詳細は当日配布資料をご覧ください)

※講演の趣旨に反する行為等があった場合は、その時点で参加をお断りさせて頂く場合があります。

ぜひ涼しい服装で!

高野山大学体育館および201教室はエアコンがありません。ぜひ涼しい服装でお越しください。

## 課題1

「全国部落調査」  
出版差し止め裁判

2016年4月に提訴した裁判も終盤に向かっていきます。この裁判を通して見えてくる、差別事件に法的に対処する際の困難・問題点をお話します。とりわけインターネットにおける差別表現について考えます。

中井 雅人

「全国部落調査」出版差し止め  
事件弁護士団 弁護士LGBTを取り巻く人権課題  
と最近の動向について

LGBTをはじめとするセクシュアルマイノリティ約1万5千人の回答が得られた国内最大規模の調査結果を通じて、当事者の生育歴やメンタルヘルス、カミングアウトの現状について解説します。

日高 康晴

宝塚大学看護学部教授  
日本思春期学会理事  
厚生労働省エイズ動向委員会  
委員当事者が語る  
バニラエア騒動

障害者差別解消法に基づき解決されたが、誹謗中傷もひどかった。声をあげた人へのバッシングは、生きづらさを助長するだけ。おかしなルールを正していける社会を考えます。

木島 英登

バリアフリー研究所代表  
NPO法人 Japan Accessible  
Tourism Center 代表人種差別禁止条例に向けた  
「オール川崎」の闘い

人種差別主義者によるデモや集会が続く川崎市では市民、行政、議会が一体となった「オール川崎」の闘いが続く。被害当事者はいかに傷つき、市民社会と行政、政治はどう応えたのか。その歩みを振り返り、差別根絶に向けた道筋を展望する。

石橋 学

神奈川新聞社・川崎担当編集  
委員

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人)

## 課題2

## 女性差別問題入門

2017年度のジェンダーギャップ指数が、日本は144か国中114位です。「経済参画」「政治参画」「教育」「健康」の度合いを示しています。この低さの原因を明らかにし、他人事ではない人権問題として考えたい。

源 淳子

世界人権問題研究センター  
嘱託研究員ネット上の部落差別の  
実態把握と政策提言

部落差別解消推進法が施行され、ネット上の差別問題についての指摘がされる中、今後、この法律を具現化するにあたり、条文にもある実態把握の進め方など、政策提言の必要性や提言内容について考えます。

松村 元樹

公益財団法人反差別・人権研究  
所みえ常務理事兼事務局長在日朝鮮人問題入門  
～阪神教育闘争70年

日本の植民地主義的な朝鮮観の特徴と東西冷戦に翻弄された、戦後の在日朝鮮人社会の形成期を「阪神教育闘争」を中心に振り返りながら、現在の在日朝鮮人が直面する課題を考えます。

文 京洙

立命館大学国際関係学部  
特任教授

## ハラスメント問題入門

セクハラ、パワハラをはじめ、マタハラやLGBTへの嫌がらせなど新たに認識されてきたハラスメントも含めて、その考え方を紹介するとともに、防止策や対応策など、基本的なことがらを考えたい。

宮内 雅也

大阪企業人権協議会事務局長  
社会保険労務士

会場：高野山大学体育館(500人)

## 課題3

## 自死は、向き合える

自死は死因の7～8番目。だが、社会のなかで特別な死として位置づけられやすい。だからだろうか。自死はなぜ起きるのか、ということについても十分に知られているとは言いがたい。社会の中の一つの死の形である自死に向き合う。

杉山 春

ルポライター

ハンセン病家族  
たちの物語

「わたしたちも『らい予防法』の被害者だ!」。ハンセン病の患者家族568名が、長い沈黙を破って声をあげ、国を訴える裁判を起こしました。家族たちの多様な体験から差別の被害について考えます。

黒坂 愛衣

東北学院大学経済学部  
共生社会経済学科准教授東京2020オリンピック・  
パラリンピック時代の  
バリアフリー法改正  
～世界基準のレガシーを～

2000年に成立した日本社会を圧倒的に変えたバリアフリー法は2006年以降改正されず、世界基準から大きく遅れてしまいました。今年の法改正のポイントや課題を整理し、インクルーシブな社会づくりについて考えます。

佐藤 聡

DPI日本会議事務局長  
日本障害フォーラム(JDF)条約  
推進委員長  
内閣府障害者政策委員会委員「見た目問題」とは何か  
～「顔ニモマケズ」から  
考えるミタメと人権～

どんな見た目でも、豊かに暮らすことはできる。生まれつきや、事故や病気によって見た目に特徴的な症状をもつ人たちの生き方がある。人生は見た目では決まるのではなく、人と人のつながりで決まるということを伝えます。

外川 浩子

NPO法人マイフェイス・マイ  
スタイル(MFMS)代表

ゲスト(見た目に症状をもつ当事者)

会場：高野山大学201教室(330人)

8/24

① 9:00~10:30

映画

はだしのゲンが見たヒロシマ

漫画『はだしのゲン』の作者・中沢啓治さんが、広島市内の思い出の土地を辿りながら、自身の生い立ち、広島での被爆体験から『はだしのゲン』を描くまでの半生を語る。貴重な原画と共に決して忘れてはならない戦争と原爆の姿を見つめます。(2011年制作。77分)

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人)

部落差別解消推進法と同和教育の課題

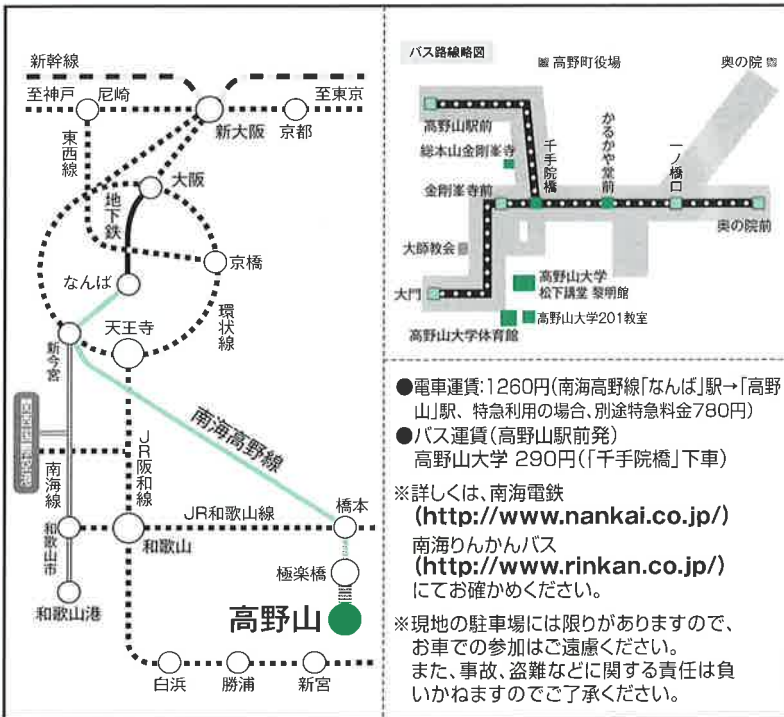
「部落差別解消推進法」の第5条においては「教育及び啓発」について国や地方公共団体の役割が言及されています。特に、学校教育においてこの法律を活かしていくための課題を考えます。

柴原 成壽 公益社団法人 全国人権教育研究協議会 代表理事

会場：高野山大学201教室(330人)

全体講演3

アクセス



8/23

10:45~12:15

13:15~16:30

フィールドワーク(事前講座+フィールドワーク) 高野山の歴史~「平等と差別」を中心に~

事前申し込み制

講師:木下 浩良 高野山大学総合学術機構(図書館・密教文化研究所)課長

毎年人気のフィールドワーク。その内容を一層理解しやすくするために、事前講座も行います。この講座でしか見聞きできない高野山の魅力を解説します。

定員 50名

参加費 3,500円

(バス代、資料代、旅行傷害保険料、税込み) ※弁当は含まれません。

時間 事前講座 10:45~12:15 (第3会議室)

昼食休憩 12:15~13:15

フィールドワーク 13:15~16:30

申し込み方法 ①お名前、②ご所属、③連絡先(郵便番号・郵送先)、④電話・ファクス番号を、Eメールまたはファクスで下記申込み先までお送りください。 Eメール:koyasan@blhri.org ファクス:06-6581-8540

※申し込みは、2018年6月11日(月)午前10:00より受け付けを開始します。

※先着順受付で、定員(50名)に達し次第、締め切らせていただきます。

※団体で複数申し込まれる場合も、お一人ずつ申し込みください。

※以前に参加したことのある方はご遠慮ください。

各会場バリアフリー情報

高野山大学松下講堂黎明館

入口:自動ドア、段差なし/エレベーター:なし/トイレ:車イス対応トイレあり(男女別)/障害者対応駐車場:なし/その他:大学の校門から会場まで登り坂。介助が必要な方は事務局までお知らせください。

高野山大学体育館

入口:自動ドアなし、段差なし/エレベーター:なし/トイレ:車イス対応トイレなし(本館のトイレをご使用ください)/障害者対応駐車場:なし/その他:大学の校門から会場まで登り坂。※会場に入るには階段を使用します。そのため、車イスのまま会場内に入る際に介助が必要となりますので、事務局までお知らせください。

高野山大学201教室

入口:自動ドア、スロープあり/エレベーター:あり/トイレ:車イス対応トイレあり(1F男女共用)/障害者対応駐車場:なし/その他:大学の校門から会場まで登り坂。介助が必要な方は事務局までお知らせください。

参加者には後日、講演内容をまとめた報告書を解放出版社よりお届けします。

本講座の講演内容をまとめた報告書を、参加券に記入いただいた送付先に翌年1月頃に送付いたします。

部落解放・人権 夏期講座 実行委員会

構成団体:大阪府人権教育研究協議会、大阪市人権教育研究協議会、大阪府立学校人権教育研究会、大阪市立高等学校人権教育研究会、大阪私立学校人権教育研究会、(一社)大阪府専修学校各種学校連合会、大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、堺市、堺市教育委員会、大阪府市長会、大阪府町村長会、『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議、高野山真言宗、大阪同和・人権問題企業連絡会、大阪企業人権協議会、JAグループ大阪人権啓発推進連絡会、人権啓発推進大阪協議会、世界人権宣言大阪連絡会議、部落解放同盟大阪府連合会、部落解放大阪府民共闘会議、部落解放同盟和歌山県連合会、(一財)大阪府人権協会、(一社)高野山宿坊協会、(株)ジョイックス、(一社)部落解放・人権研究所(順不同)

参加・宿泊のお申し込みは、7月27日(金)までにご所属の団体事務局にお申し込みください。  
 ※参加と宿泊の申し込み先は、別になっていますのでご注意ください。

### 参加費・参加申し込み方法

**参加費** **7,500円**  
 (参加・資料代、報告書代、税込み)

#### 参加申し込み方法

**実行委員会加盟団体のみなさま**  
 7月27日(金)までにご所属の団体事務局にお申し込みください。  
**実行委員会加盟団体以外の団体の方、ならびに個人として参加される方**  
 下記①または②のいずれかの方法でお申し込みください  
 ①(一社)部落解放・人権研究所のホームページよりお手続きください。  
 (クレジットまたはコンビニ決済となります。)⇒<http://blhrrri-shop.org/>  
 ②下記の銀行口座に参加費をお振り込みください。その後、申込書に必要事項をご記入の上、振込証明書(領収書のコピー)とあわせて下記事務局まで、FAXまたは郵送にてお送りください。後日、参加券をお送りいたします。

#### ホームページからの申し込み

(一社)部落解放・人権研究所のホームページよりお手続きください。  
 (クレジットまたはコンビニ決済となります。)⇒ <http://blhrrri-shop.org/>

#### 参加費振込先

りそな銀行桜川支店 普通預金 0109213  
**部落解放・人権夏期講座実行委員会** ※代表 奥田 均  
(アライイナジツカシカガジツクウイカイ)

#### 参加申込書送付先

〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8F  
**(一社)部落解放・人権研究所**  
**「部落解放・人権夏期講座」係**  
**tel.06-6581-8576 fax.06-6581-8540**

### 宿泊料金・宿泊申し込み方法

**宿泊料金** **17,300円**(税込み)  
 ※2泊3日・5食(2日目の昼食は弁当)の料金です。

#### 宿泊申し込み方法

**実行委員会加盟団体のみなさま**  
 7月27日(金)までにご所属の団体事務局にお申し込みください。  
**実行委員会加盟団体以外の団体の方、ならびに個人として参加される方**  
 宿泊を希望される方は、(株)ジョイックスのホームページよりお手続きいただくか、あるいは下記の申込書に必要事項をご記入の上、コピーを下記(株)ジョイックスまで、FAXまたは郵送にてお送りください。

#### ホームページからの申し込み

(株)ジョイックスのホームページよりお手続きください。  
 ⇒ <http://joyx.moon.bindcloud.jp/>

#### 宿泊料金振込先

りそな銀行新大阪駅前支店 普通預金 7011087  
**株式会社ジョイックス** (カア)ジョイックス  
 ※大阪府知事登録旅行業第2種1558号 代表取締役 益田大志

#### 宿泊申込書送付先

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-8-3 新大阪サンアールビル北館  
**(株)ジョイックス**  
**「部落解放・人権夏期講座」係**(担当:山本)  
**tel.06-6390-3400 fax.06-6390-0394**

◎高野山直行バス案内◎ 南海特急こうや号の指定席もご用意できます(満員になり次第締切ります)

**新大阪駅→高野山(全体講演会場)直行バス運行の案内** ▶ **片道3,500円**

**出発時間** 8月22日(水)午前10時30分(所要約3時間)

※8/24(金)12時の復路も運行します。 ※申込等は上記(株)ジョイックスまで、お問合せください。  
 (株)ジョイックス ホームページ <http://joyx.moon.bindcloud.jp/>

切り取るか、コピーしてお使い下さい。

お問い合わせ先

講座事務局：(一社)部落解放・人権研究所 啓発企画部

TEL:06-6581-8576・FAX:06-6581-8540・E-Mail:koyasan@blhrrri.org

第49回部落解放・人権夏期講座

2018年 月 日

参加申込書

名前			
所属			
連絡先(住所)	〒 □□□-□□□□		
TEL	( ) -	FAX	( ) -

※正確にお書きください。なお、ご記入いただきました個人情報、講座の運営上の目的以外には使用いたしません。